

子育てについて

2月6日(土)、西小林保育園の参観日、保護者の皆様に「子育て」についての講話をさせていただきました。

今、小林市では「0歳から100歳までの小林教育プラン」を作成し、就学前から生涯にわたる教育の大切さを様々な事業を具体的に進めることで学校の保護者や地域の皆様にお伝えしています。即ち、子育てに関する様々な課題が山積する中で学校、家庭、地域が一体となって大切な地域の宝である子ども達を育てていこうというねらいがあります。

今回の講話も幼稚園や保育園から小学校に入学してくる子ども達の保護者の方々に幼児期の子育ての在り方についての意識を高めてもらおうという目的をもって実施させていただいたものです。

子育てについては、様々な考え方がありますので、どれが正解という訳ではありません。しかし、子育てに関してのある程度の知識や経験は必要ですし、保護者はそれを基にした教育方針を持つべきだと思います。

ところで、子育ての究極の目的はなんのでしょうか。どこに向かって、何のために子育てをしているのでしょうか。教育という専門的な視点から申し上げれば、教育基本法第1条(教育の目的)「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。」とあります。端的に言えば、子育ての目的は、「子どもを自立させること。」ではないでしょうか。

では、自立を促すためにはどうしたらよいでしょう。これは、個人的な考えになってしまいますが、自立に必要なことは、子どもに「自分で考え、自分で行動する場面や機会を多く経験させること」ではないかと思えます。自分の考えや行動に責任をもつことができるように仕組んでいくことが大切です。

当然、未発達な子ども達ですので失敗することも多いと思いますが、その失敗も貴重な経験になるし、失敗を乗り越えてこそたくましく成長できるものと考えます。

要するに、子どもにできること、子どもでもできそうなことはどんどんやらせてみるのが大事です。大人は、そんな子ども達を見守り、励まし、時には、適切なアドバイスをしてあげればいいと思います。そして、自立に必要な力、たとえば生活力(料理したり、洗濯したり、掃除したりする力・・・一人でも生活できる力)、人間力(あいさつなどの基本的な生活習慣やコミュニケーション能力など)、経済力(仕事でお金を稼ぎ、役に立つ使い方ができる力)を育てていけばいいのではないかと思います。

このように考えてくると、これから変化の激しい社会を生き抜くために必要なキーワードは、少々のことではへこたれない、「たくましさ」なのかもしれません。

薬物乱用防止教室

2月19日(金)、5・6年生を対象に薬物乱用防止教室がありました。小林警察署の田中巡査部長を講師にお迎えし、主に、たば



【講話の様子】

こや薬物の身体や心への害や影響ということについて話をいただきました。このような薬物の最も恐ろしいところは、1回でも手を出してしまうとやめられなくなってしまふ、いわゆる依存症になってしまうことです。話題の野球選手ではありませんが、薬物依存により健康や社会的な地位、信用など全てのものを失うこととなります。薬物依存の恐ろしさを考えるよい機会になりました。



1日(火)	全校朝会(地域の方への感謝集会)、補充指導	11日(金)	集団下校
2日(水)	茶飲ん場、寺子屋	15日(火)	卒業式予行練習
3日(木)	卒業式練習	16日(水)	お別れの式(1,2,3,6年)
4日(金)	ALT訪問	18日(金)	図書館閉館
6日(日)	学校・家庭・地域フォーラム	21日(月)	振替休日
7日(月)	園児との交流(1年)	23日(水)	卒業式準備、6年大掃除
9日(水)	読み聞かせ、教育相談	24日(木)	卒業式
10日(木)	卒業式練習	25日(金)	修了式、登校班会、大掃除
11日(金)	お別れ遠足(弁当の日)		集団下校
		30日(水)	離任式

*19日(土)、新市誕生10周年記念イベント、「ギネス世界記録に挑戦」が実施されます。ご協力を。

小林市研究論文・授業論文表彰式

18日(木)に小林市研究論文・授業論文表彰式が文化会館で実施されました。今年も本校の先生方が応募した中から、教育研究論文の部で今藤教頭先生が一席、松吉先生、長友先生、織田先生、馬場田先生のグループ論文が二席に選出されました。

昨年に引き続き、輝かしい実績を上げることができました。このように西小林小学校の先生方は、教職員としての資質の向上を図り、子ども達のためによりよい授業を行うための努力を日々積み重ねています。西小林小の先生方を大変誇りに思います。



【表彰式の様子】

変化の激しい社会や教育環境に対応するために教師にも日常的に研修をすることが求められています。

今後も、西小林小の先生方はこれまでの伝統と誇りを胸に、鋭意努力し、子ども達の教育を進めていきます。

全校で集まってテストなんて初めてで、緊張したけど、集中して真剣に取り組むことができました。



今年もT-1グランプリに参加しました

T-1グランプリが2月14日(日)に宮崎市のMRTミックで開催されました。本校から3年生の大迫琉唯君、牟田龍叶君、井手平七海さん、4年生の春園苺華さん、弓場琉夏さん、5年生の粗木綾太君、大迫凌空君、永田琳里乃さん、久留木彩美さんの9名が参加しました。

T-1グランプリは、小学校3~6年生を対象に日本茶のチャ(茶)ンピオンを決めようと県の茶業組合が主催するイベントです。内容はO×クイズ(30問)、お茶の種類当て競技、お茶のいれ方実技競技の三つの部門があり、それぞれの得点で順位が決まります。当日は、県内各地から100名以上の参加があり、それぞれの部門に一生懸命に取り組みました。

事前に家庭で指導していただいたり、学校でも教頭先生が指導したりするなど、準備もしっかりして当日も全員とてもよく頑張りました。

結果、残念ながら本校の子ども達は入賞することはできませんでした。個人戦で決勝に残った6人は三つの部門で全て満点だったというレベルの高さでした。

しかし、参加した子ども達にとってはとても貴重な経験になったと思います。せっかく身に付けたお茶の知識や技術を是非これからの生活に生かしてほしいし、更に磨きをかけてまた来年のT-1グランプリに挑戦してほしいと思います。



全校で漢字テスト、計算テストをしました。

2月22日(月)の2校時、全校児童を体育館に集めて、漢字テスト、計算テストを実施しました。主なねらいは、基礎的・基本的な学力を身に付けさせることですが、その他にも全校一緒に実施することで緊張感をもたせること、テストと合わせて立腰や鉛筆の持ち方などの評価をすること、また、机・椅子の移動をするとき、上級生が下級生のお世話をすることで上級生の自覚をもたせることなど様々なねらいをもって取り組みました。初めての試みで時間設定や机の移動など不安な要素もありましたが、ほぼ計画通りに進めることができ、思った以上に成果をあげることができました。改善を図り、更に効果的な取組にしていきたいと思います。

にしこぼのきらきら子ども達の紹介

作品展等で受賞した人たちの紹介です。

宮日ジュニア作品展

- 県優良賞 2年 早田 健士朗君
- 県入選 5年 木村 安智依さん

宮崎県こども造形作品展

- 入賞 2年 安藤 未来さん
- 入賞 6年 志水 琴菜さん

1月25日(月)の学校の朝の様子です。約40年ぶりの大雪で、学校も臨時休校になりました。

